

2018年度活動報告書
(2018年4月1日～2019年3月31日)

<はじめに>

子どもたちにとって生きづらい社会であることは毎日のようにテレビ、新聞を通じて我々に突き付けられています。この傾向はもっと強まっていくのではないかと思わざるを得ません。そんな時代に当法人が果たすべき役割は無限にあるのではないかという思いに至った2018年度でした。

寄付者の“思い”をお預かりし、子ども、青少年を支援する団体に届ける「助成事業」は安定的に継続できました。啓発事業の「子どもファンド・セミナー～子どもたちのSOSを受け止めよう」は多くの方の参加を得て、シリーズ第3回を終えることが出来ました。

2回目となる「ピンクシャツデー2019 in 神奈川」は行政、企業、市民団体等との協働事業として立ち上げた「ピンクシャツデー神奈川推進委員会」の運営事務局を子どもファンドが務めました。準備期間の少なかった前年度に比べ大きな広がりがみられ、一層の事業拡大が期待できます。

寄付金収入は昨年並みに推移しましたが、前年度にあった遺贈等の大型寄付がない中で企業、個人の寄付、ネット募金などが伸び、収支均衡の決算ができました。多くの方々に認知していただき、ご寄付を預けるにふさわしい団体であると認めていただけるようになった証左と実感しております。

2019年度は「かながわボランティア活動推進基金 21」（基金 21）の協働事業負担金交付対象事業に決定するなど大幅な事業拡大が予想され、事務局の一層の充実、理事の補充等を行い、事業遂行に取り組まねばなりません。

次年度も適切な組織運営を行い、“神奈川に無くてはならない”と認めていただける神奈川子ども未来ファンドになれるよう、一層の努力をして参ります。

会員の皆様の一層のご理解とご支援をお願いいたします。

<2018年度の取り組み>

神奈川子ども未来ファンドは子どもや若者が生きる喜びと未来への希望を育む神奈川になることを願い、「地域創造（創る）、架け橋（つなぐ）、醸成（担いあう）」という3つのミッションのもと、様々な活動に取り組んできました。

会員増強、寄付増加を視野に入れ、アコースティックフェスティバルを始めとするイベントへ積極的に出店し、活動への理解と協力を呼びかけました。

昨年度に引き続き子どもファンド・セミナー「子どもたちのSOSを受け止めよう」を開催し、子どもたちの抱える困難を共に考え、担いあう基盤づくりに取り組みました。

更に、子どもに優しい地域社会を創るために、「いじめストップ！～ピンクシャツデー2019 in 神奈川」の事務局を担いました。県や市、企業・団体、NPO、商業施設等が一体となったキャンペーンは大きく広がり、神奈川モデルとされました。その様子は新聞各紙、NHKやtvkのニュース等でも繰り返し紹介され、多くの共感を呼びました。

また、助成選考委員会の審議のもと、2019年度は県内の子ども支援団体7団体へ総額102万円の助成が決定しました。市民と担いあう地域創造として、更に多くの助成が可能となるように、今後も積極的に取り組んでいきます。

また「再建計画」に基づく改善案に対しても、安定した運営のために理事が職務を分担し事務局を支えながら、事務局体制の強化に取り組みました。

事業再開に向けて策定した「再建計画」の会員数は未達成ですが、事業展開やイベント出店等により、寄付や募金額は増加の傾向にあります。収支は均衡し、2018年度助成事業を滞りなく実施することができました。

<2018年度事業報告>

1. 会員の募集

	2018年度実績	前年度実績	再建計画の目標数値
正会員	85名	86名	180名
準会員	49名 (54口)	49名 (54口)	100口
子ども応援会員	19名 (29口)	19名 (32口)	60名・組織
法人会員	8社 (12口)	5社 (8口)	7口

(2019年3月末現在)

2. 寄付の募集

- ・ 一般寄付金 3,659,504 円 (昨年度2,973,377円)
- ・ 運営基盤を支える寄付金 829,950 円 (昨年度 217,478円)

3. NPO 助成事業

(1) 2018年度助成贈呈式・2017年度助成報告会を開催した。

- ・ 日時：2018年6月17日（日） 14時～
- ・ 会場：横浜中央 YMCA 8、9階
- ・ 出席者：2018年度助成団体、2017年度助成団体、寄付者、プレゼンター、一般参加者等約100名
- ・ 次第：助成贈呈式、助成報告会・交流会

(2) 2018年度助成概要

「一般助成」「課題助成／いじめ・貧困・児童虐待防止」の2分野とし、総額100万円（上限25万円）で募集した結果、15件の応募があった。「助成選考委員会」の審議にて、7団体へ総額109万円の助成を決定し、理事会決議を経て実施した。

(3) 2018年度助成選考委員

- ・ 委員長 北川 剛司氏 北川商事株式会社代表取締役社長
- ・ 委員 高取しづか氏 NPO 法人 JAM ネットワーク代表
- ・ 委員 西川 正 氏 NPO 法人ハンズオン埼玉常務理事
- ・ 委員 山口 明 氏 神奈川県労働委員
- ・ 委員 藤沖 彩 氏 神奈川県弁護士会子どもの権利委員会委員

(4) 2018年度助成団体：7団体

団体名	区分	事業内容 < >内活動領域	都市名	助成金額(円)
NPO 法人 ひだまりの森	一般	<親子の孤立を防ぐ事業> 相談から社会参画へ。事業部の設置 冊子「相談者からの声」作成事業	横浜	150,000
おっち一塾	一般	<地域で困っている子どもを支える事業> 地域ボランティアによる不登校児童・生徒 への学習支援とコミュニケーション支援	横浜	200,000
街の家族運営委員会	一般	<子育て応援を地域に展開する事業> 地域の資源やつながりを活用した子育て家 族と地域の交流を支援する事業	横浜	120,000
一般社団法人 ことぶき青少年広場	一般	<青少年広場居場所事業> 居場所を活用し、子ども若者の生活・成長 をサポートする寄り添い型支援事業	横浜	120,000
一般社団法人 ここから未来	課題	<いじめ再発防止への情報発信事業> 子どもの生命や人権を守り、環境改善の 解決策を提案するブックレットの発行事業	横浜	150,000
フォスター	課題	<里親など家庭養護を促進する事業> 里親やファミリーホーム、養子縁組家庭を 写真展やトークイベントで紹介する事業	横浜	150,000
てとてと	課題	<困難を抱える家庭のための居場所事業> 食事の提供や各種講座とソーシャルワーク による支援を取り入れた居場所事業	相模 原	200,000

(5) 2019年度助成の審査決定

2018年度助成分と同様、「一般助成」「課題助成/いじめ・貧困・児童虐待防止」の2分野とし、総額100万円上限25万円で募集した結果、13件の応募があった。助成選考委員会の審議にて、7団体へ総額102万円の助成が決定された。

① 2019年度助成概要

- ・ 募集総額：100万円
- ・ 助成選考委員会：2019年3月29日（木）
- ・ 募集期間：2018年11月～2019年1月25日
- ・ 応募総数：13件（前回比 △2件）
- ・ 助成総額：1,020,000円
- ・ 応募総額：2,623,600円（前回比 △348,400円）
- ・ 助成団体：7団体

② 2019年度助成選考委員

- ・ 委員長 北川 剛司氏 北川商事株式会社代表取締役社長
- ・ 委員 高取しづか氏 NPO 法人 JAM ネットワーク代表
- ・ 委員 西川 正 氏 NPO 法人ハンズオン埼玉常務理事
- ・ 委員 山口 明 氏 神奈川県労働委員
- ・ 委員 藤沖 彩 氏 神奈川県弁護士会子どもの権利委員会委員

③ 2019年度助成団体

団体名	区分	事業内容 < >内活動領域	都市名	助成金額 (円)
生き×活き コミュニティ	一般	<居場所・コミュニティを創る事業> ひきこもりや未就労者等が、フラット 参加できるフリースペース(場)を提供する	横浜	100,000
おっち一塾	一般	<地域で困っている子どもを支える事 業> 地域ボランティアによる不登校児童・ 生徒への学習支援とコミュニケーション支援	横浜	200,000
NPO 法人 子どもと共に歩む フリースペース たんぼぼ	一般	<小冊子「何よりも命が大切！子ども たちからあなたへ」(仮題)の作成事 業> 子育て家族と地域の交流を支援	横浜	200,000
NPO 法人 ひだまりの森	一般	<親子の孤立を防ぐステップアップ事 業> 多様化するニーズに対応する新たな相 談体制を作る(有料相談の実施・広 報)	横浜	170,000
東戸塚 【キララの教室】	一般	<外国につながる児童への学習支援> 指導法の改善、受け入れ人数拡充を検 討。10周年記念イベント、記念誌の 作成・配布	横浜	120,000
NPO 法人 なまむぎ子ども食 堂	課題	<こども食堂> 「楽しい会話が何よりのごちそう」を スローガンに運営。新たに学習支援事 業を開始予定	横浜	130,000
みんなの場「てと てと」	課題	<困難を抱える家庭のための居場所事 業> 簡単な食事の提供や各種講座とソーシ ヤルワークによる支援を取り入れた居 場所事業	相模原	100,000

4. 協働事業

(1) ピンクシャツデー2019in 神奈川～「いじめストップ！」ワールドアクションの運営

昨年に引き続き、「いじめストップ！」ピンクシャツデー・キャンペーンの活動を通して、子どもや若者が生きる喜びと未来への希望を育む神奈川になることを願い、活動の運営を担った。

2019年2月をピンクシャツデー月間とし、小学校でのイベント1回、商業施設での告知イベント2回、ファイナルイベント1回を実施した。活動の様子は行政、企業、団体、NPOが協働した神奈川モデルとしてNHKやtvkのニュース報道でも複数回取り上げられ、全国に発信された。また、多くの新聞等で報道された。

来年度への参加や協力等の賛同者も増え着実な広がりを見せており、ピンクシャツデー・キャンペーンの意義深さに思いを新たに、今後も活動を推進していく。

①取り組みの概要

- ・ピンクシャツデー月間 / ピンクシャツデー・キャンペーンの告知活動
- ・キャンペーンソングの流布、ポスターの貼付等
- ・オリジナルTシャツ、Yシャツ、缶バッチ、ストラップのチャリティ販売
- ・メディア等の掲載

日経新聞、読売新聞全国版、朝日新聞、毎日新聞、神奈川新聞、東京新聞、日本教育新聞、タウンニュース、J:COM、NHK、tvk、TBS等でネット配信も含めて掲載、放映された。

- ・ユーチューブ動画の制作発信

②キャンペーンイベント

- ・みなとみらい・横浜ワールドポーターズでアクション

日時：2月3日（日） 13時／15時 2回ステージ

場所：横浜ワールドポーターズ 2階

- ・横浜市立白幡小学校でのピンクシャツデーイベント

日時：2月13日（水） 9:40／10:45 2回開催

場所：横浜市立白幡小学校（神奈川区）体育館

- ・横浜西口駅前広場

日時：2月24日（日） 11時／14時

場所：高島屋正面入り口前

内容：ミニ朗読劇『ハッピーバースデー』（協力／オフィス・デュオ）

ライブパフォーマンス

（N.U.、東池袋52、横浜タカシマヤダンスユニット）

- ・ピンクシャツデーファイナルイベント

日時：2月27日（水） 13時／15時（2回ステージ）

場所：新都市プラザ催事スペース（そごう横浜店地下2階正面入口前）

内容：N.U. LIVE ステージ

ミニ朗読劇『ハッピーバースデー』（協力／オフィス・デュオ）

ジェントルハートプロジェクトからのメッセージ

横浜市立領家中学校吹奏楽部演奏&生徒会からのいじめストップ！宣言
スペシャル応援トーク「子どもを見守る輪を広げよう」

藤木久三氏（株式会社ありあけ会長）

五大路子氏（女優・横浜夢座座長）

応援メッセージ

荒木田百合氏（横浜市副市長）、鯉渕信也氏（横浜市教育長）

パネル展

中学生の人権作文、ピンクアイテムを身に着けた個人、団体、企業等の写真等。

配布物：ピンク風船配布（500個）、プログラム 1,500枚、チラシ等。

・ライトアップ

横浜コスモワールド、金沢シーパラダイス巨大水槽、横浜マリントワー

③ユーチューブ動画の制作発信

・参加者、団体のメッセージや映像等

・N.U.よりキャンペーンソングの提供

「Link～出会えた奇跡にありがとう～」 「手をつなごう」

④SNS #ピンクシャツデー神奈川 発信

⑤その後の取り組み

・横浜スタジアムのベイスターズ対ドラゴンズ戦始球式でのピンクシャツデーの紹介

⑥ピンクシャツデー取り組みへの理解と協力要請。

・協力・協賛として 61 の企業・団体と個人、後援として 38 の企業・団体が参加し、「いじめストップ！」への思いを共有した。

(2) かながわ子どものみらい応援団への参加

(3) バリアフリーフェスタかながわ 2018 への参加

日 時：平成 30 年 11 月 4 日（日曜日） 11 時 30 分～17 時 00 分

場 所：横浜新都市ビル（そごう横浜店）9 階センタープラザほか

主 催：神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

問合せ先：神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課

実行委員長を吉富多美副理事長が担当した。また、神奈川の子どもたちを支える活動を紹介するブースを出店。スタッフ 100 名にピンクシャツデーオリジナル T シャツを提供した。

(4) 「かながわボランティア活動推進基金 21 平成 31 年度協働事業負担金」交付対象事業に決定

対象事業名：子ども支援活動地域サポート推進事業

事業 1 普及啓発とサポーターの創出・掘り起こし事業

事業2 子ども支援活動を支えるためのネットワーキングとコーディネート事業

県担当部局：子ども支援課、青少年課

協働事業交付決定額：6,484,000円

今後、担当部局と協働し、上記事業を実施することになった。

5. 啓発事業

- (1) 子どもファンド・セミナー「子どもたちのSOSを受け止めよう」シリーズⅢを公益財団法人横浜YMCAとの共催で3回に亘り開催。ナビゲーターは3回共に西野博之理事が担当した。「今まで受けた研修やセミナーとは違った観点で、考えることができた」との声が寄せられた。参加総数（174名）。

＜第1回＞ 9月24日（日） いじめストップ！

講師：須永祐慈氏（NPO法人ストップいじめ！ナビ副代表）
大貫隆志氏（一般社団法人ここから未来代表理事）

＜第2回＞ 10月21日（日） 子どもの貧困

講師：加藤彰彦氏（沖縄大学前学長、名誉教授）
山野良一氏（沖縄大学教授、「なくそう！子どもの貧困全国」ネットワーク世話人）

＜第3回＞ 11月19日（日） 虐待の連鎖を止めよう

講師：成田信子氏（社会福祉法人久良岐母子福祉会母子生活支援施設くらき施設長）
山崎美貴子氏（神奈川県立保健福祉大学前学長、神奈川県子ども未来ファンド理事）

- (2) 講演会や委員会への参加・協力

前年度に引き続き、「神奈川県こども・子育て支援推進協議会」等の会議へ参加するとともに、講師依頼や各種委員会にも対応した。

①各種審議会・委員会

- ・神奈川県こども・子育て支援推進協議会（吉富多美副理事長）
- ・神奈川県バリアフリーの街づくり推進県民会議（吉富多美副理事長）
- ・神奈川運輸支局バリアフリーネットワーク会議（国土交通省関東運輸局・吉富多美副理事長）
- ・横浜市ボランティアセンター運営委員（野北事務局員）

6. 広報事業

- (1) テレビ、新聞報道等

「ピンクシャツデー2019 in 神奈川～「いじめストップ！」ワールドアクション～」は、NHKニュース、tvkニュース枠で、TBSニュースはネット配信された。日経新聞、読売新聞全国版、朝日新聞、毎日新聞、神奈川新聞、東京新聞、日本教育新聞、タウンニュース等に掲載。

- (2) NPO データベースの運営

子ども、子育ての貢献活動を行う企業等と NPO の連携促進を目的とする「子どもの居場所情報箱」の管理・運営に努めた。

- ・データベース「子どもの居場所情報箱」

https://www.kodomofund.com/npo_portal/

- (3) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信。

- ・年2回発行の広報紙とメールマガジンを随時発行し、ファンドの活動報告や寄せられた支援、助成対象団体の紹介などを発信した。また、ブログやツイッター、フェイスブックを活用した日常的な活動状況の発信に努め、活動の透明性を高めた。

- ・広報紙「ハンズ to ハンズ」42号 (3,000部)、43号 (3,000部) を発行

- ・ツイッター <https://twitter.com/kodomofund>

- ・フェイスブック <https://www.facebook.com/kodomofund>

- (4) WEB サイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営

子ども・若者や子育ての支援を行う NPO の活動情報、各種非営利イベント情報、NPO を対象とした助成金公募情報などの提供、地域貢献活動に取り組む企業情報の発信に努めた。

- (5) ネットワーク事業（展示・広報・出店等）

- ・かながわ中央メーデー

開催日程：2018年4月28日（祝）

会場：臨港パーク

参加内容：飲料販売

- ・ヨコハマ・アコースティック・フェスティバル vol.9

開催日程：2018年10月1日（日）

会場：山下公園（横浜市中区）

参加内容：Song for smile フラッグの作成、ステッカーの販売、活動紹介、飲料販売、オレンジハート風船募金など

主催：YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL 実行委員会

- ・モトスミ・ブレーメン通り商店街 フライマルクト

開催日程：2018年10月7日（日）

会場：モトスミ・ブレーメン通り商店街（川崎市中原区）

参加内容：商店街振興組合ブースでの物販の手伝い

主催：モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合

協力：モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合

- ・第27回ダンボふれあいバザー

開催日程：2018年11月23日（祝）

会場：地域作業所ダンボ周辺（横浜市保土ヶ谷区和田町）

参加内容：飲料販売等

主催：地域作業所ダンボ・福祉を考える会

7. 組織運営

(1) 運営改善の取り組み

①役員体制の強化

- ・副理事長の増員 1名増員
- ・監事の業務執行

中間監査 2018年12月4日

本監査 2019年 5月8日

②事務局体制の強化

- ・常勤事務局員は財政的理由で置くことが出来なかったが、理事、運営委員のボランティアな活動で事務局運営を支え、補完した。
- ・理事が担当業務を執行することで補完した。
- ・出納事務手続きを確実に実施した。
- ・協働事業負担金により、2019年4月から常勤職員の雇用を決定した。

(2) 通常総会、臨時総会、理事会、運営委員会の開催

各種事業の円滑実施のために通常総会、理事会、監査、運営委員会を開催。

①通常総会

日時：2018年5月30日（月）19時00分～20時15分

場所：かながわ県民活動サポートセンター コラボスタジオ

議題：2017年度活動報告、2017年度決算書、2018年度活動計画、2018年度予算書、役員を選任および監事を選任について

②理事会（7回）

・第1回理事会

日時：2018年4月5日（金）19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナースイップルーム

議題：①2017年決算見込について ②2018年度事業計画等について他

・第2回理事会

日時：2018年4月24日（木）19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナースイップルーム

議題：①活動報告書について ②決算書について他

・第3回理事会

日時：2018年5月16日（水）19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナースイップルーム

議題：①総会資料の検討について ②次年度理事・監事について

・第4回理事会

日時：2018年5月30日（水）18時50分～19時00分

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナースイップルーム

議題：①ヤフーネット募金を通じた寄付に係る返還申出の取扱いについて

・第5回理事会

日時：2018年5月30日（木）20時20分～20時30分

場所：かながわ県民活動サポートセンター コラボスタジオ

議題：①理事長、副理事長の選任について

・第6回理事会

日時：2018年8月31日（金）19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナースイートルーム

議題：①子どもファンド・セミナーについて②ピンクシャツデーについて
他

・第7回理事会

日時：2018年10月18日（金）19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナースイートルーム

議題：①2019年度助成事業について ②基金21応募について 他

・第8回理事会

日時：2018年11月18日（日）18時～20時

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナースイートルーム

議題：①上半期の会計状況について ②ピンクシャツデーについて 他

・第9回理事会

日時：2018年12月12日（水）19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナースイートルーム

議題：①中間監査報告 ②認定更新について

・第10回理事会

日時：2019年1月29日（水）19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナースイートルーム

議題：①助成事業の応募状況について ②ピンクシャツデー協賛について

・第11回理事会

日時：2019年3月5日（火）19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナースイートルーム

議題：①中間監査報告 ②認定更新について

③監査

・中間監査

日時 2018年12月4日（火）19時～20時30分

内容 2018年度前期事業対象

出席 渡辺監事、理事長、副理事長2名、総務担当理事1名、事務局1名

・本監査

日時 2019年5月8日（水）15時00分～17時00分

場所 ワールドポーターズ 6階

内容 2018年度事業対象

出席 渡辺監事、理事長、副理事長2名、総務担当理事1名、事務局2名

④7月度理事懇談会

日時：2018年7月20日（金）19:00～21:00

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナースイートルーム

⑤運営委員会（12回）実施

2018年

4月19日（木）、5月17日（木）、6月14日（木）、7月19日（木）、8月16日（木）、9月13日（木）、10月11日（木）、11月15日（木）、12月13日（木）

2019年

1月17日（木）、2月21日（木）、3月14日（木）

(3) その他の運営事項

- ・ボランティアの受入れ等

当ファンド事務局の発送作業や資料印刷などの実務作業への協力、さらにはイベントへの企業・団体からの参加協力を得られた。

8. 「再建計画」および決算の処理について

2014年の横領事件以降、第三者委員会、所轄庁である横浜市、神奈川県のご指導をいただき、組織の改善等を行い、再建に取り組んでまいりました。2019年度は「再建計画」の最終年度にあたります。

事件の方は、2015年1月にSを刑事告訴し、2018年9月に実刑判決が確定しました。しかし、本年2月にSは収監中に死亡しました。よって、事件以来決算書に「元職員未収入金」と記載していた「流動資産」は回収の見込みがなくなりましたので今決算において損金処理を行うことにしました。